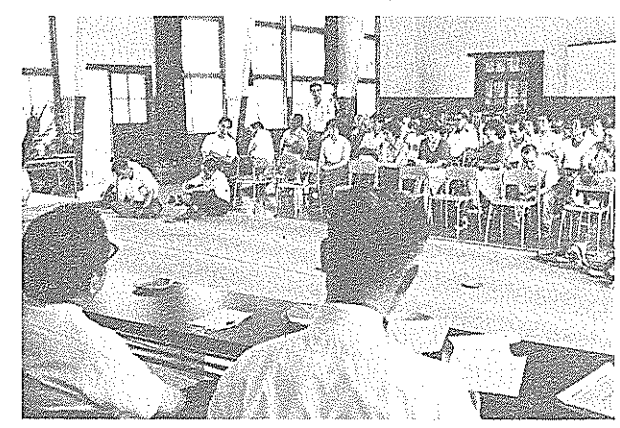


十市市政懇談会

公民館活動の一環としての十市市政懇談会が、六月二十八日、十市地区公民館（沢村武一館長）に百二十人あまりの地元住民が出席して開かれました。

小学校改築などで熱心な討議



（財政問題）オイルショック以来の不況で本市も財政危機に陥った。五十二年度決算見込みでは表面上の赤字はわずかながら、開発公社への未払金約十五億円など表面化していない赤字があり、まだまだ厳しい状態である。

要はあるが、教育委員会としては住宅団地との関係を十分考え、将来を見通した計画をたてるべきだと考えている。あくまでも地元の意向を十分とり入れた計画をたてるので、地元としての統一した意向を生みだしてほしい。



は北廻り案で地元との協議を進めていきたい。ぜひご協力をいただきたい。
（住宅団地）パークタウンは四十六年に計画高知市三里を含めて三〇〇戸と大きなものだったが、石油ショックなどにより見直しが必要となった。現在の住宅団地は九二戸を計画、本年度を本格的な準備年度とし、来年度より着工、六十年に一千六百戸、六十年の団地として完成する予定である。

これに対して門田教育長から小学校改築については、場所をどこにするか、一校にするか二校にするか、など問題は山積みしている。教育委員会では、将来を見通した計画を地元といっしょになつて作るべきだと考えており、今後十分協議を進めていきたい。

話し合いでは地元の人たちから、小学校改築は早急に実施すべきだ。地元との協議を早くしてほしい。住宅団地とは分離して取組むべきだ。黒潮ラインは北廻り案に賛成、すみやかに地区民との協議をしてほしい。市川の改修が完了しない限り上流の改修、すなわち団地関係の改修はしない、という先の三里水利組合総会での決議を、住宅団地の工事実施にどう位置づけるのか。その他の問題として、支所廃止、十市海岸の市有地、排水問題、ゴミの不法投棄などについて意見が出されま

支所廃止については、地元の人々との密接な関係があるので、あくまでも納得のいく線まで廃止を検討したい。いますぐという問題ではないので十分協議をしたい。
十市全体の問題である排水問題、建設省へもかけあっているがどうも海からの侵蝕を守ることを至上使命としているようで、内水面の処理の積極性が今一つない。今考えられる一つのは、東浜放水路へ幹線排水路をつなぐことであるが、土地改良区への承など再度調査して具体化したい。などの説明があり、話し合いを終りました。

臨時市議会

大篠小・香南中を改築

第百三十六回市議会臨時会は、七月三日開かれ、工事請負契約の締結について、など三件が原案どおり可決されました。
今回提案された主な議案は、大篠小学校校舎改築工事と香南中学校改築工事の請負契約の締結で、それぞれ九千万円以上の予定価格となり、地方自治法により議会の議決を要するため、臨時市議会を開いたもの。

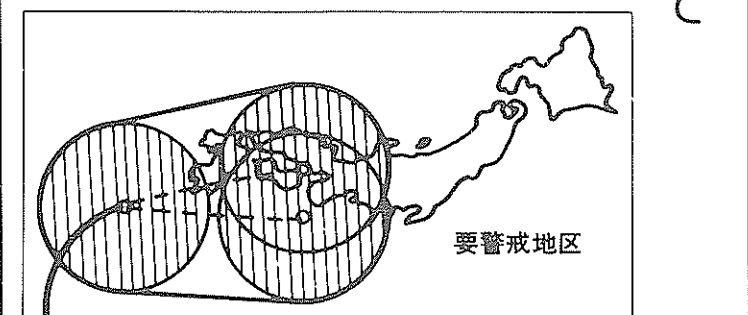
大篠小学校校舎改築工事（第一期工事）は総工費一億二千九百万円で、鉄筋コンクリート造り三階建て（延べ面積一千三百三十五平方メートル）となり、普通教室四教室、来年三月末完成予定。請負は西川建設です。
また、香南中学校校舎改築工事は総工費一億五千六百万円で、鉄筋コンクリート造り三階建て（延べ面積二千六百二十一平方メートル）

なり、教室は一階に、美術教室、職員室、保健室、図書室、二階に家庭科室、視聴覚教室、三階に理科室、音楽室など、普通教室は七教室となっています。完成予定は五十四年十月末で、請負は岡部建設です。

マイホーム建設の方へ
住宅金融公庫の「借入申込用紙」を「借入申込み」「住宅についての相談」は公庫業務取扱店へお気軽にどうぞ。四国銀行、高知相互銀行、高知信用金庫、労働金庫、県信連、県信漁連。
住宅金融公庫高松支所住宅相談所、☎〇八七八〇一七二一



台風シーズンになりました。なかでも八月が台風のラッシュで、高知県は台風が通過しやすい位置にあり、毎年被害が出ています。この機会に、進路予想図の見方、台風の風の強さ、いざという時の非常用品について、ご紹介しましょう。



この扇型予想図は、あくまでも台風の「中心（目）」が進む可能性のある地域を表わすもので、扇の内側を台風が通り、外側は安全ということではないのです。
ですから、自分の地域が扇型の外側からといって安心はできません。予想図を見たら、扇型のいちばん端を台風の「中心」が通ると仮定し、地図の上にコンパスで半径をとって円を描くと、自分の地域が暴風雨圏内か圏外か、はつきりします。

一度、自分で測量してみませんか。
風の強さに注意を
台風の風の強さは、進行方向に対して右側（つまり、台風の中心が自分の地域の北側や西側を通る時の方が左側より強いのです。これは、うず巻きの風の方向と台風を押し流す一般の風の方向が、右側では「追い風」に、左側では「逆風」になるためです。
さて、右側と左側の風の強さの違いはどのくらいかといいますが、最大平均風速で十三、十四倍の差が過去に記録されています。
風速二十倍では、大人が身体を丸めて姿勢を低くすれば何とか進めます。また風速三十倍では、歩けないどころか立ってもおれず、戸外に居るのは危険で、雨戸がは

ずれたり、時には木造家屋が倒れるほどの強さです。
右側と左側とは、このくらいの差があるものと考え、台風の進行方向に注意しながら、それ相応の準備を怠りなく。
非常用品は
▽懐中電灯▽トランジスタラジオ▽オマケ食品（インスタント食品やかん詰など）▽水筒▽赤ちゃん用ミルク、おしめ▽応急医療用品▽現金▽預金通帳▽ビニール袋▽リュックサック―など。
いざという時の非常用品は、各自工夫して用意しておきましょう。